

CCH[®] TeamMate

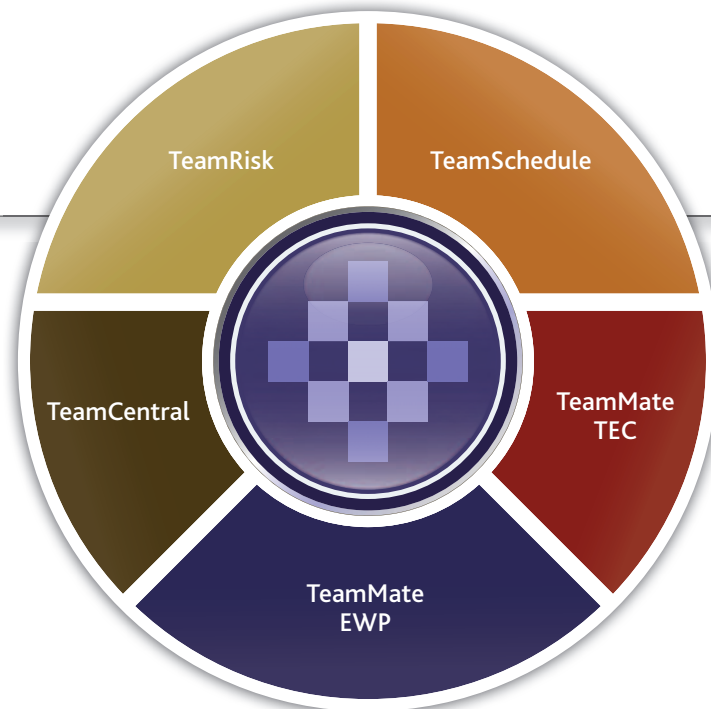
監 査 管 理 シ ス テ ム





もくじ

■ 概要	2 - 3
■ TeamRisk	4 - 5
■ TeamSchedule	6 - 7
■ TeamMate TEC	8 - 9
■ TeamMate EWP	10 - 11
■ TeamCentral	12 - 13
■ Templates and TeamStores	14 - 15
■ TeamAdmin	16
■ システム要件	17



CCH® TeamMate

付加価値のある監査のためのソリューション 監査のプロセスを改革する選ばれた監査管理システム

作業時間削減を実現しながら価値を高める

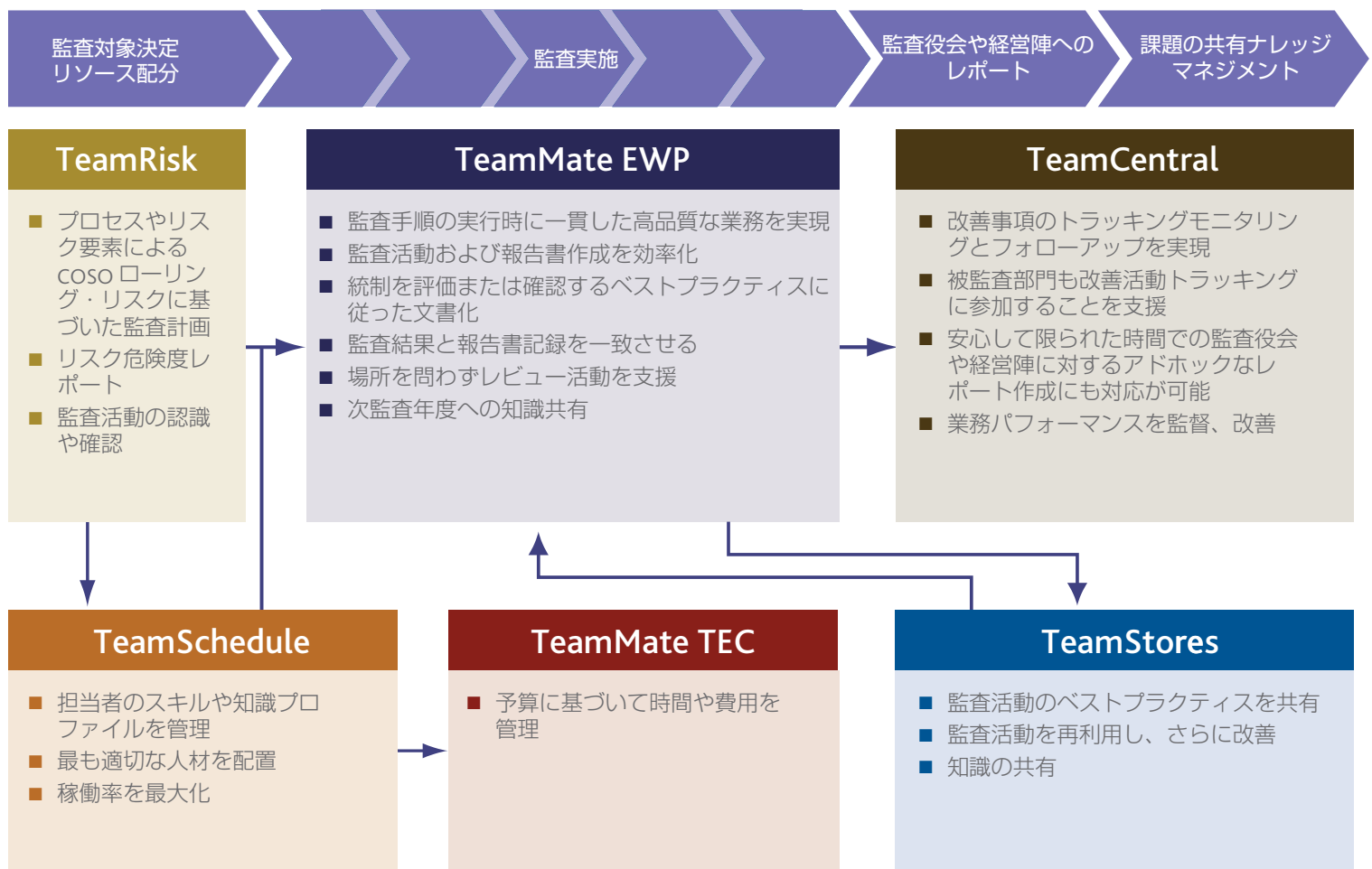
ある調査によると、内部監査人の業務のうち 40% 以上が文書作成と監査調書のレビュー、報告書の作成に費やされているそうです。

TeamMate は価値の向上につながらない作業時間を削減し、あらゆるレベルの内部監査人が、より付加価値の高い業務に集中できるような環境づくりのために設計されています。TeamMate のユーザーに対する調査では、利用してから 1 年目で、平均して 20-25% 生産性が向上したという結果が出ています。

このシステムだけで完結するソリューションとして、TeamMate はほぼ全てのシステム環境で稼動し、それぞれの企業および組織の監査方法に柔軟に適応できます。

CCH TeamMate は多くの内部監査人に利用されている標準システムです。TeamMate は高品質の監査の基盤となり、監査調書作成プロセスを標準化します。また、内部監査人の知識を向上させる効果もあり、監査報告書を改善し、経営層へ重要な情報をします。

TeamMate は全ての業種におけるあらゆる監査で利用できるように設計されており、監査部門の規模の大小に関わらず、監査プロセスの各段階において効率性と生産性を向上させるために利用されています。リスク評価、スケジュール管理、費用と時間の管理、監査計画、監査の実施、レビューや承認プロセス管理、報告書生成、傾向分析、監査委員会への報告や文書管理に対応しています。



TeamMate の導入について

TeamMate は気軽に導入することが可能です。Microsoft® Word や Excel® を利用した監査作業と比較すると、文書作成はもちろん、パワフルなデータベースエンジン、最新技術のスキャン技術に対応した文書システムといった機能がワークフロー機能とともに完成度の高い監査管理システムとして構成されているため、すぐに利用できる点の違いがあります。

新システムの導入に際して今までの方法を 100% 捨てることはありません。TeamMate には既存の計画用文書、リスク評価、戦略計画、個別監査業務をプログラムの書き直し無しに取り込むことができます。TeamMate EWP のテンプレート機能を利用すれば、あらたな個別監査業務手続、ベストプラクティスとなった監査手続、監査チームのメンバーの詳細、予備監査のためのチェックリストや報告書、各種レポートのテンプレートをクリックしていただくだけで作成、再利用できるようになります。

もちろん、TeamMate を適切に導入するための導入支援サービスもご用意いたしております。

TeamMate サポート

オンラインヘルプのシステムに加えて、わかりやすい日本語ユーザーガイドをご用意しています。製品サポートは、お客様のあらゆるお問合せに対応すべく必要に応じて四大洲をカバーする世界中のサポートデスクがご支援する体制をとっております。

また、TeamMate のユーザーコミュニティ専用ホームページにバーチャル会議室が設定されており、世界中のユーザーと TeamMate の開発チームやサポート担当者が一緒になって情報交換を行っています。このユーザー専用ホームページでは、製品バージョンアップ、ご利用方法ヒントコーナー、よくあるご質問への回答集やわかりやすいサポートガイドもご用意しております。

CCH® TeamMate

監 査 管 理 シ ス テ ム

CCH TeamMate Suite は統合された5つの基本コンポーネントと監査データ管理システムで構成されています。ライセンス料金には全てのコンポーネントが含まれており、購入後、追加オプション料金は生じません。

対応が柔軟なリスク評価ツール。監査計画の生成、企業や組織のリスクをグラフに表示可能。

TeamRisk

貴社および組織の人材と個別監査業務をスケジュールするための総合ツールです。

スケジュールを監査人別およびプロジェクト別で表示可能。

TeamSchedule

TeamCentral

パワフルな Web ベースの監査トラッキングシステム。検出事項や、監査プロジェクトに関する主要な統計を追跡できるデータベース。検出事項のフォローアップ、トレンド分析、過年度監査結果のレビューや監査委員会報告書の作成に有効。

TeamMate
EWP

監査人の文書作成やレビューの時間を削減し、より付加価値の高い監査サービスを可能にする、強力な電子監査調書。

TeamMate
TEC

作業時間や経費の報告作成ツール。TeamScheduleと連携し、より効果的に使用可能。

TeamStores は監査メンバーの情報、監査手続書・監査調書テンプレートのベストプラクティス、検出事項の記述様式、リスクとコントロールなどを保存し、監査プロジェクトからインポートできるようにするマスタ管理ツール。

CCH[®] TeamMate—TeamRisk

監査のためのリスク評価

対応が柔軟なリスク評価ツール。監察計画の生成、企業や組織のリスクをグラフに表示可能。

リスクベースの監査へ

TeamRisk は、貴社で現在採用されているリスク評価手法を用いて、リスク評価を実施・報告できる強力なツールです。リスク評価をいかに設計し、実施し、報告するかを決めるのは貴社です。

TeamRisk は下記の監査標準に対応することで、さらに監査担当者を支援しています：

- 内部監査人協会：“内部監査の専門職的実施の基準”
- バーゼル銀行監督委員会：“銀行の内部監査および監督当局と監査人の関係”
- COSO レポート：“内部統制—統合的枠組み”
- Turnbull 委員会の企業行動規範 2002

監査との統合と自動化

TeamMate の他のモジュールと統合することによって監査業務の一本化に貢献できます。

- リスク評価から個別監査業務が生成され、TeamMateEWP で監査調査作成作業に引き継がれます。
- TeamMate EWP で個別プロジェクトの監査調査作成作業に引き継がれます。
- TeamRisk からこれまでの TeamSchedule と TeamMate EWP で扱った個別監査業務が参照できますので、リスク評価の担当者が、個別監査業務のレベル、プロジェクトサイクル期間、それまでのリスク評価スコア、最終的なリスク評点、前年度のリスク評価対象部門の担当者といった情報の確認が可能になります。これはリスク評価の対象となる組織全体をより良く把握することに役立ちます。

TeamRisk はデータ収集機能も備えています。自己評価（CSA）機能により、リスク評価担当者は対象部門の担当者、または内部評価の実施において内部監査部門に Web アンケートを送信することが可能です。

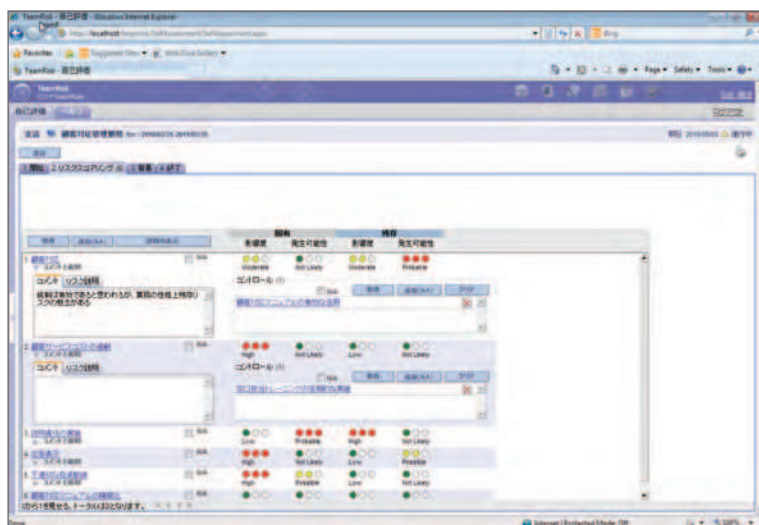
- 対象となるリスクの採点を行えます。
- カスタムメジャーを入力できます。
- オンラインで文書バックグラウンドを入力可能です。

オンラインによる結果はリスク評価担当者が完了した全面的な評価に格納できます。

有効なリスク評価を組み立てるために

リスク評価がそれぞれの企業及び組織のあり方を映し出すように、また、ビジネス目的、リスク、コントロールをリスクユニバースとして構成できるようにリスク評価を設計することで、リスクの採点をシンプルな方法へと改革できます。

- スコアリングのための方程式や結合方法をカスタマイズ設定できます。
- 例えば影響度と発生可能性など、採点基準は、貴社あるいは組織のリスクに対する考え方に合わせて選択することが可能です。
- コントロール前のリスク（固有）コントロール後のリスク（残存）、または両方のリスク要素を確認しながら結論づけることができるようになります。
- それぞれの事業体やビジネスプロセスに重要性を付加したい場合はカスタムメジャーを規定できます。



TeamRisk の自己評価機能では手軽な Web アンケートが簡単な操作で生成できます。

リスク評価

TeamRisk のリスク評価の実施はシンプルです。

- 対象部門のカスタムメジャー値を入手します。
- ビジネス目的、リスク、コントロールをあらかじめ設定しておいたリスクライブラリーから選択します。
- リスクの採点を行う自己評価の担当者を確定して連絡します。また、それぞれのカスタムメジャーと背景を入力します。
- リスクと、その影響を受けるであろう組織にリンクさせ、固有、残存のいずれか、または両方のリスクを採点します。
- それぞれのリスクに基づいた評価にコメントを残します。
- 自己評価結果のデータを、リスク評価をより確実なものにするため、インポートします。
- 各評価に関連した文書を添付します。
- 企業および組織全体、もしくは特定の組織単位のビジネス目的やリスクをフィルタリングできます。

プロジェクトファイルの生成

個別監査業務と監査調査を含む個別監査業務のためのプロジェクトファイルをリスク評価の情報を基にして生成することができます。

TeamRisk で識別されたリスク情報が TeamMate EWP のリスク & コントロールビューワーに自動的に入力され、監査担当者が所定のリスクとコントロールに着目できるよう、ハイライトされるようになっています。

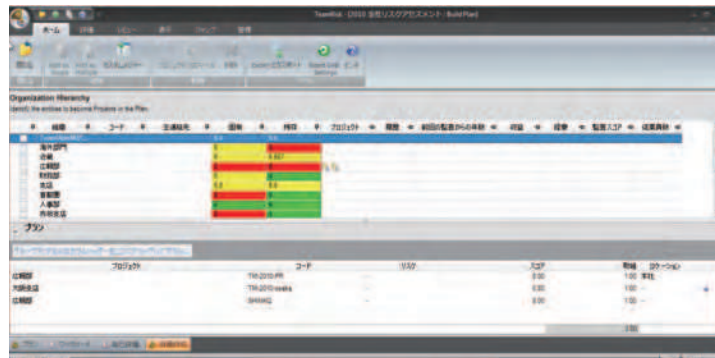
ニーズに合わせたレポートを柔軟にカスタマイズできます

レポートテンプレートは貴社および組織の標準に合わせたレイアウトにカスタマイズすることも可能です。レポートは PDF、Excel、HTML、RTF といった形式に出力することもできます。

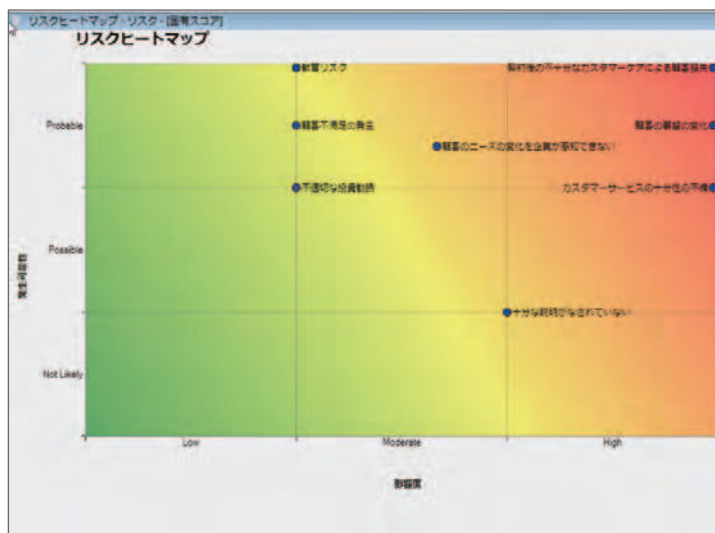
ヒートマップ監査ユニバーズ ビューワー で監査の着目が必要なのはどこかを識別できます。また、年間監査計画をリスク評価に基づいてプロジェクトの詳細とスケジュールとともに生成することも可能です。

様々な範囲の記述式または表形式のレポートテンプレートが利用できます。

- リスク評価報告書
- ヒートマップ
- リスクマトリックス
- 監査計画報告書



監査人にとって使いやすい、豊富なグラフィック形式の選択ウィザードがガイドしますので、監査への関心と呼ぶ高リスクの組織や機能の識別ができるようになります。



監査ユニバーズビューワーモードの TeamRisk のヒートマップは監査が必要な事業体やビジネスプロセスを識別することを支援します。

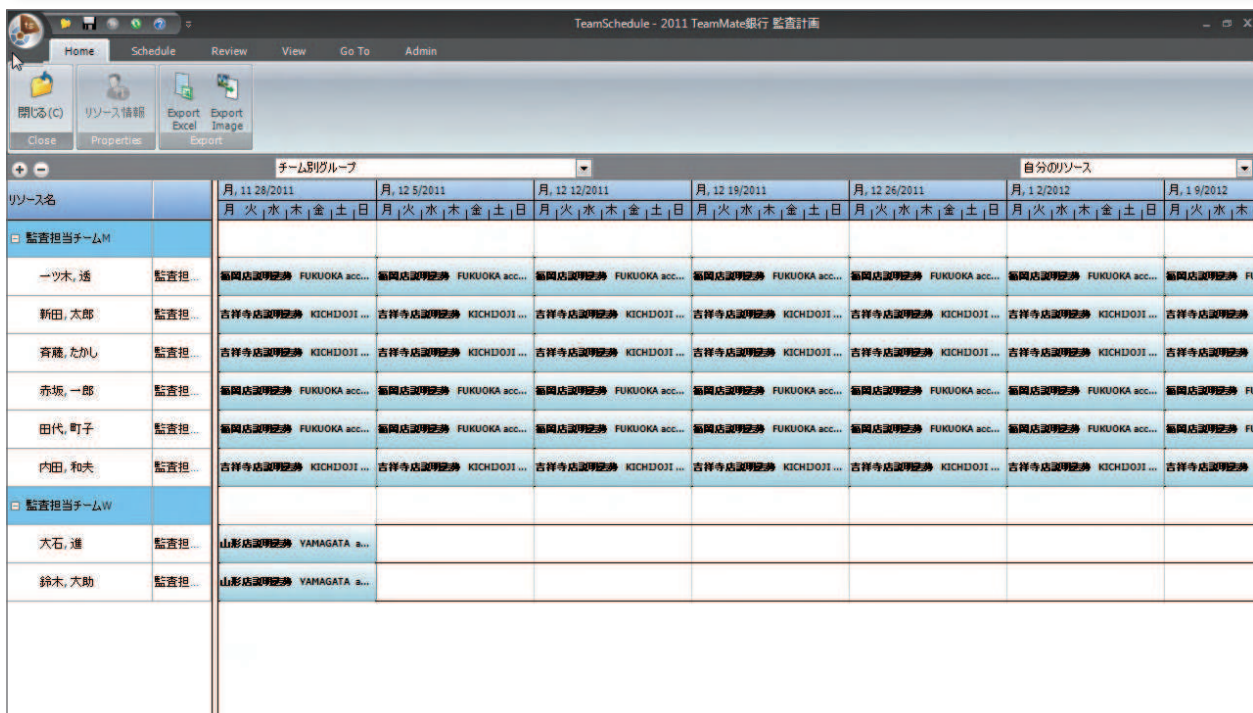
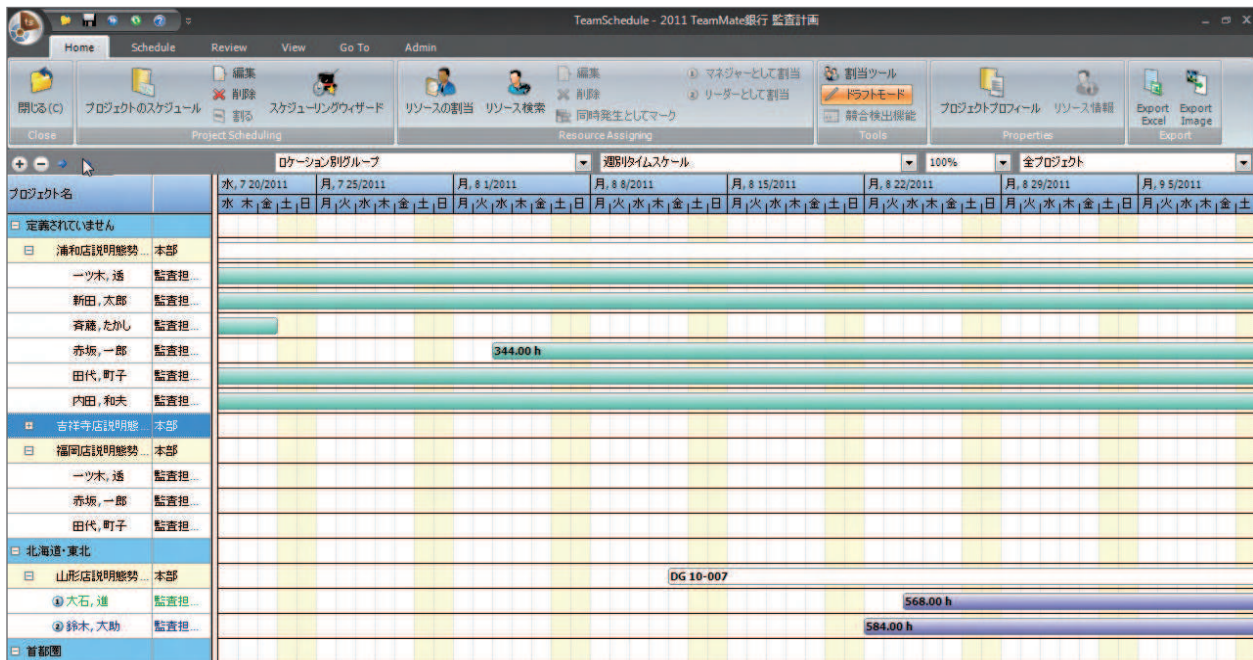
CCH® TeamMate—TeamSchedule

リソースとプロジェクトのスケジュール管理

貴社および組織の人材と個別監査業務をスケジュールするための総合ツールです。スケジュールを監査人別およびプロジェクト別、または割当状況別で表示することができます。

TeamSchedule は 年間監査計画において、人材の割当やプロジェクトのトラッキングをビジュアルに確認しながらリソースやプロジェクトのスケジュール管理ができるようになるツールです。

TeamSchedule は、グループ規模の大小に関わらず複数のスケジュール担当者が簡単に作業できるように、フレキシブルに設計されています。スケジュールやアサインメントはガントチャートで表示されます。



ビジュアルなプロジェクトや割当状況の表示。表示モードを自由に選択可能。

人材や個別監査業務を手軽にスケジュール管理

TeamSchedule のパワフルな機能をご紹介します。

- ユーザ基準（リスク、目標開始日、タイプ、ロケーション）に基づくプロジェクトのスケジューリング。
- 割り当てツール - ガントチャート形式のビュー上でプロジェクトのスケジュールとリソース割当てをインタラクティブなマウスのドラッグアンドドロップ操作で行うことができます。
- リソース検索 - スケジュール管理者がチームもしくは全監査人の中から、スキル、資格、言語、経験およびロケーションといった条件を使って、プロジェクトに見合った監査担当者を検索することができる高機能ツール。
- What-If（もし、ここに割り当てればどうなる）形式で分析を行いながら割り当て予約をすすめることができます。

- プロジェクトの見積コスト（社内および社外）の追跡、モニタリング。
- 担当者の競合を自動的に検出し、スケジュール管理者の競合特定と競合解決をサポート。
- 監査計画の管理に必要な情報や特に重要な個別監査業務に注目しながらスケジューリングできるようにビューがカスタマイズできます。
- 個々のスケジュール、監査担当者活動状況、監査担当者スキル、空き時間などの報告書を容易に作成可能。
- TeamSchedule Web- 監査担当者にブラウザから閲覧できる簡潔なスケジュール表を提供し、監査担当者は自分のスケジュールを Outlook® カレンダーに取り込むが可能です。

条件や資格・技能を選択し、このプロジェクトに最適なリソースを検索します。その中から割り当てるリソースを選択します。リソースをダブルクリックすると、同じ期間内の他の割当てを見ることができます。

検索条件:

チーム: 監査担当チームM
 グレード: 監査チーム 主査
 ロケーション: 本部以外
 開始日: 2011/04/11
 終了日: 2011/08/01

資格・技能:

タイプ	値
言語	ヒンディー語
資格	CIA
資格	CISA

Select one or more resources to assign. You can view their other assignments in the same period by double-clicking on availability icon.

一致する

% 利用済	リソース	一致する
50	一ツ木, 透	監査担当チームM, 監査チーム 主査, CIA
33	斎藤, たかし	監査担当チームM, 監査チーム 主査
33	田代, 町子	監査担当チームM, ヒンディー語
17	新田, 太郎	監査担当チームM
17	赤坂, 一郎	監査担当チームM
17	内田, 和夫	監査担当チームM

ドラフトモードがアクティブ化されました

シンプルな手順で適切なチームの人材計画を支援するリソースファインダー。

CCH® TeamMate—TeamMate TEC

時間と費用の入力

プロジェクト見積とタイムシート機能の統合によって、時間と費用に関する把握と予実管理を行なうツールです。

TeamMate TEC ではプロジェクトや非業務作業（休暇や研修等）の時間と経費の入力ができます。プロジェクトの進捗状況や関連する経費を視覚的に追跡することができ、プロジェクト要約報告書やリソース活用状況、全体的な予算管理などの文書を作成することができます。

無駄のないタイムシート処理

TeamMate TEC はウェブベースのアプリケーションで、データ入力作業を簡潔にし、どこからでもタイムシートを作成することができます。

- タイムシートの選択では、TeamSchedule のアサインメントから自動的にデータが投入され、タイムシートの完成に必要な労力を最小限にすることができます。
- 管理者は、時間をチャージできる日や、タイムシート上の合計時間の制限値などを設定することができます。
- 事務担当者に代理で時間を入力を依頼するようご使用方法も可能です。
- 入力ミスに対しては、マイナスの時間を提出し直すことで修正することができます。
- タイムシートを承認する管理者をアサインすることができます。

経費の追跡

経費はプロジェクトや非業務作業毎に追跡できます。TEC は経費精算システムではなく、プロジェクトに掛った経費を迅速に追跡するものなので、詳細な経費情報の入力はありません。

- 追跡したい経費の分類を決めることができます。
- 計算機能によって、一回の入力で交通費のような全ての関連経費の合計額を入力することができます。
- 必要に応じて、予想外の経費や出張の延長などの付加情報を詳細に入力することもできます。

時間入力	合計	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
		1	2	3	4	5	6	7	8
		8.00	0.00	0.00	9.00	7.50	8.00	0.00	0.00
<input type="checkbox"/> TeamMate銀行2010年度顧客対応監査 赤坂支店 TM-2010-CF-ASK-1	9.50				4		5.5		
<input type="checkbox"/> 山形店説明態勢 YAMAGATA accountability for retail clients DG 10-007	0.00								
<input type="checkbox"/> 広報部監査 PR dept Inspection PR 10-003	0.00								
<input type="checkbox"/> -----<プロジェクトの選択>-----	0.00								
<input type="checkbox"/> -----<プロジェクトの選択>-----	0.00								
<input type="checkbox"/> -----<プロジェクトの選択>-----	0.00								
<input type="checkbox"/> 私人休暇 -----> 休暇取得	4.00				4				
<input type="checkbox"/> 私人休暇 -----> 監査業務以外の社内行事	7.50					7.5			
<input type="checkbox"/> -----<業務外選択>----- -----<カテゴリ>-----	0.00								
<input type="checkbox"/> 会議 週次部内会議	2.00				1				
<input type="checkbox"/> 会議 月例取締役会議	8.00	8							
<input type="checkbox"/> 研修 CPE単位取得のための外部研	2.50								

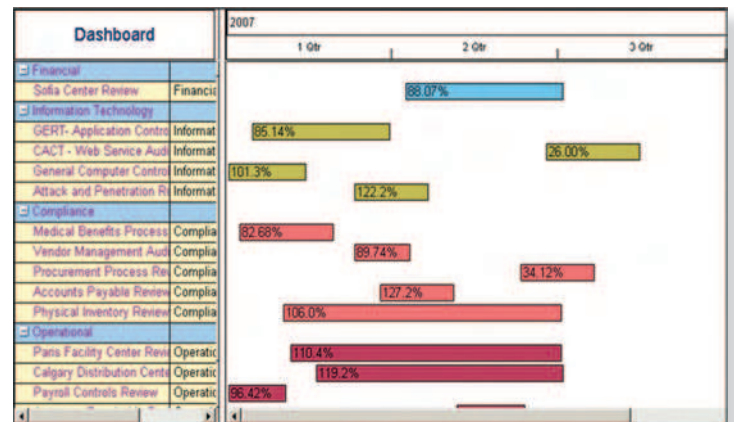
時間の入力には、直感的に使えるタイムシート式インターフェースを採用しています。

迅速に個別監査業務プロジェクトの状態を把握

貴社の年間監査計画やプロジェクトの状況を迅速に把握できる機能を紹介いたします。

- プロジェクトトラッキング-貴社のプロジェクトをプロジェクトタイプやロケーション別に分類することによって分析し、費やされた時間の詳細までドリルダウンし、スケジュール通りに行われているか、予定時間内に終了できるかどうか把握します。この機能は、プロジェクトのコストや期限を管理する立場にある人にとって、大きな助けとなります。
- トラッキングガント-ひと目で、重要業務指標 (KPI) が監査計画や現場往査、報告やまとめに費やされた時間に対して見合っているか判断できます。
- タイムダッシュボードマネジャーは年間監査計画の全ての進捗状況を見ることができます。プロジェクト・リストを下にスクロールし、画面下のインフォメーション・ビューより、プロジェクトの開始日、終了日、時間数を確認することができます。

- タイムシートステータスマネジャーはタイムシートの状況をチェックして、報告対象期間のデータの完全性や正確性を確認できます。
- 報告書は簡単に作成できます。“リソース活用状況”など報告書の種類を選び、貴社の基準に合わせてデータをフィルターにかけます。フィルターの使用により、11種類の標準的な報告書が作成できるため、ほとんどの報告ニーズに対応することができます。



それぞれの個別監査業務プロジェクトの完了状態を表すパーセンテージをダッシュボードが視覚的に表示しています。

タイムトラッキング

プロジェクト 業務外 管理

フィルタ

全て展開 全て閉じる 検索 TeamMate銀行2010年度顧客対応監査 赤坂支店

プロジェクトタイプ	報告期間	残存	見積済	合計	変動	実際変動
重要業務のテーマ監査 非定期監査	9.50	0.00	0.00	9.50	-9.50	-9.50
プロジェクト名	報告期間	残存	見積済	合計	変動	実際変動
TeamMate銀行2010年度顧客対応監査 赤坂支店	9.50	0.00	0.00	9.50	-9.50	-9.50
カテゴリ名						
定義されていません						
姓	名	報告期間	合計			
一ツ木	透		0.00			9.50
小計		9.50	0.00	0.00	9.50	-9.50
合計		9.50	0.00	0.00	9.50	-9.50

プロジェクトトラッキングビューは予定と実際に費やされた時間とを対比して確認できるように設計されています。

CCH® TeamMate—TeamMate EWP

総合監査調書作成システム

文書作成、レビューワークフローに必要な作業時間を軽減し、監査業務の価値を高め、高度化するためのツールです。

TeamMate EWP は強力なデータベースアーキテクチャを提供します。必要な情報をすぐに探しだすことができるため、効率的な文書化作業やレビュー作業を可能にします。

監査手続、検出事項、コーチングノート、サインオフ、編集履歴などの重要な情報はデータベースに保存されます。TeamMate のようなデータベース主導型システムはリアルタイムで進められる、作業チームに即した利用が可能となり、重要な情報がフィルタリングやソーティングといった操作で確認することが可能です。このようなデータベース機能があるからこそ、TeamMate は単なる調書作成システム以上のシステムと言えるのです。

TeamMate なら担当別、リスク別といった要素やキーワードで重要なデータを簡単に酢彫り混むことも可能になります。

協働作業による効率性向上

TeamMate EWP 上で行う監査業務プログラムはオンライン上でも進行でき、レビューの効率を最大化するように開発されています。個々の監査手続ステップに個別の承認ができるため、ひとつの個別監査業務を担当することとなった複数の担当者がそれぞれのステップを担当して同時に作業を進めることが可能になります。

TeamMate EWP の持つ進捗が一目で分かるステータスフラグとデータ抽出機能により、レビュー担当者はレビュー可能な範囲を容易に把握、参照することができます。

TeamMate EWP はアクセス権限の設定機能を持ち、プロジェクト単位で各監査人に役割を設定することができます。例えば、監査調書内の自分が担当した部分に対しての自己レビューを禁止したり、調書を読取専用でしか開けないメンバーを設定することができます。

監査関連文書への簡単で確実なアクセスを実現

文書と文書を紐付ける機能をご用意しておりますので、監査手続と関連する検出事項は自動的に相互リンクが張られます。例えば、会社の方針に則していない発注書が見つかった時に、監査人はその発注書をスキャンもしくはドラッグアンドドロップ操作で TeamMate EWP に取り込むだけで、監査証拠が監査手続へ自動的に紐付けられます。

注記された検出事項の詳細をスペシャルフォームにキャプチャすることができるため、報告とトラッキングに関連する全ての詳細を文書化に可能。必要に応じて、提案や関連する行動計画を多数設定することが可能です。

他にも、TeamMate EWP には以下のような相互参照機能があります。

- 監査調書からコーチングノートや検出事項への自動参照
- 全てのアプリケーションへのハイパーリンク
- ウェブサイトや ACL などのファイルへのハイパーリンク
- ブックマークの作成やリンク

ペーパーレス化を推進する画像や PDF ファイルの取り込み機能

TeamMate EWP は、他のアプリケーションで作成された文書を取り込む機能が優れている点でも定評があります。監査の検出事項を監査手続の中に直接入力することもでき、また取り込んだ Word や Excel ファイルの中に書き込むこともできます。TeamMate EWP に取り込まれた後は、Microsoft Office の機能を全て保持したまま、TeamMate EWP のツールバーを利用することで、他の文書への相互参照、注記、問題点や検出事項、コーチングノート、および文書へのサインオフなどを加えることも可能になります。

レポート出力の省力化

TeamMate の 360° レポート機能によって、問題点や検出事項、作業進捗や時間のサマリなどを、任意のフォーマットにて Microsoft Word 形式で自動的に出力することができます。作成されたレポートはマネジメントなどの閲覧や変更の後、監査ファイルへインポートすることができます。



(Draft) 発見事項リスト (ver.x)

作成日: 12/5/2011

検出された不備の数 # 4

No	不備項目	ステータス	リスク	改善提案	回答
A.1	ISS.2 - 職務分離の不備	職務分離の不備が見られた 職務分離の不備	チェック機能の不備	職務分離の徹底	職務分掌規定に照合してプロセスを点検する
A.1	ISS.1 - 有価証券関連商品の販売に関する不備	有価証券関連商品の販売に際し、マニュアルの不備が見られた。マニュアルは整備されておらず、長期に渡り改訂もなく、参照もされていない。 有価証券関連商品の販売に関する不備	説明不十分	顧客対応マニュアルを整備し、浸透させるための取組を計画し、実施する。	顧客対応マニュアル刷新
B.1	ISS.13 - 経費の取り扱いに関する注意	経費の取り扱いに・・・ 経費の取り扱いに関する注意		マニュアルを改訂し・・・	
B.1	ISS.9 - 写真が実物と違う	実物と異なる写真が採用された 写真が実物と違う	説明責任	パンフレットの刷新	

報告書レイアウト例

他にはないレベルでの Microsoft Office 製品との統合機能

TeamMate EWP は、他のアプリケーションで作成された文書を取り込む機能が優れている点でも定評があります。監査の検出事項を監査手続の中に直接入力することもでき、また取り込んだ Word や Excel ファイルの中にも書き込むこともできます。TeamMate EWP に取り込まれた後は、Microsoft Office の機能を全て保持したまま、TeamMate EWP のツールバーを利用することで、他の文書

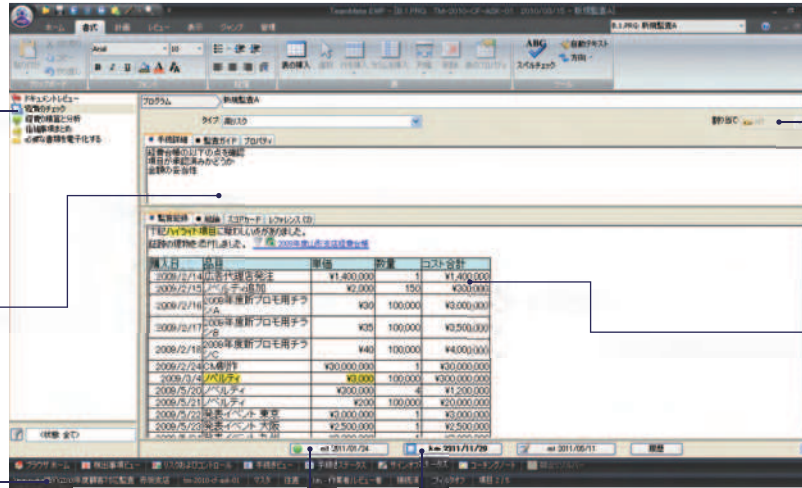
への相互参照、注記、問題点や検出事項、コーチングノート、および文書へのサインオフなどを加えることも可能になります。

TeamMate EWP のプロジェクトファイルは全て自動的に暗号化され、圧縮されます。Microsoft Word、Excel、PowerPoint® などの他社のソフトウェアで作成された添付文書についても同様です。従って、サーバー上、ローカル PC などの保存場所や E メール添付、WAN 経由などのデータ送信方法に関わらず、セキュリティが確保されます。

色分けされた状態アイコン
色分けされた自動表示アイコンで監査手続の進捗状態を確認できます。

TeamStores から個別監査業務が取得できます。
定型的または優良な個別監査業務は TeamStores に保存することができ、簡単に取得できます。取得すると自動的に監査手続が内容ごとに表示されます。

絞込み機能
絞込み機能により、個別監査業務での検索と分類、必要なプロセスや監査手続の位置づけが可能。

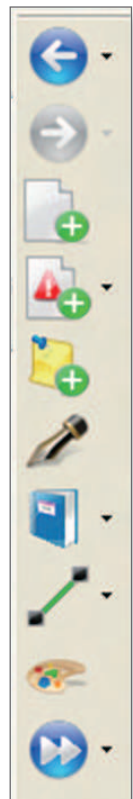


割当フィールドが手続毎の担当者を表示しています。

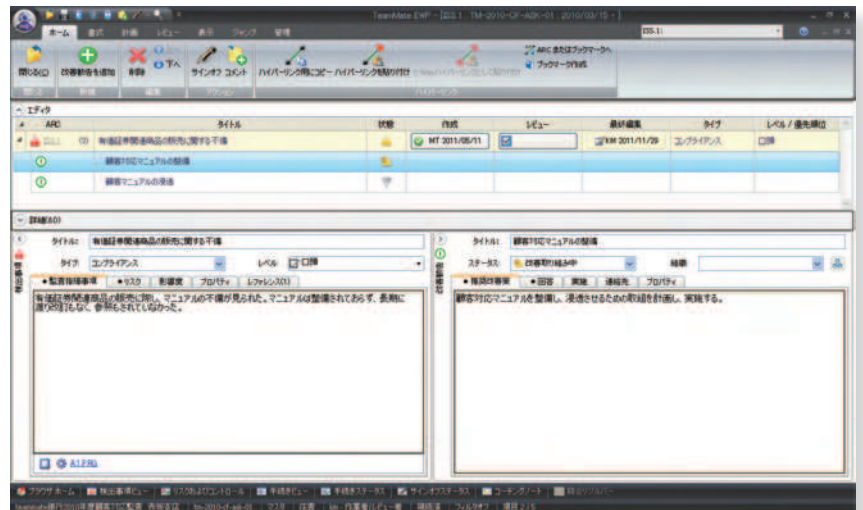
フィールドには、罫線、特殊フォーマット、ディックマーク、Web サイトや外部ファイルへのハイパーリンクなどを利用しながら入力できます。

サインオフとレビュー機能
承認はボタンをクリック、履歴も残ります。

個別監査業務の手続画面に担当者、進捗状態、レビュー状況といった概要が表示されます。



TeamMate Auditor ツールセットは、発見事項の記入、相互参照の設定、コーチングノート（コメント機能）電子サインオフ機能、ディックマーク、といった機能の入り口となるツールバーです。



この画面から不備や発見事項を改善勧告やアクションプランと関連付けて記入します。ひとつの発見事項に複数の改善勧告を個別に登録してフォローアップする事も可能です。

CCH® TeamMate—TeamCentral

個別監査業務と発見事項の追跡

発見事項と個別監査業務プロジェクトの重要な指標を追跡する強力な Web ベースのツールです。

TeamCentral は TeamMate EWP のプロジェクトプロファイルや検出事項を蓄積し、グローバル監査および問題点の追跡を可能にするウェブベースのデータベースです。フォローアップの進捗状況を追跡することもできます。

簡単な操作で以下のことが実現できます。

- TeamMate EWP を使用せずに、監査結果をウェブブラウザから見る事ができます。(TeamMate EWP がインストールされている必要はありません。)
- 過年度や期中の監査データを、Web アプリケーションから簡単に検索ができます。
- 問題点のフォローアップ、トレンド分析、過去に実施した監査のレビューや監査委員会報告がシンプルな操作で容易に実現できます。
- 主要な関係者にアクセス権を付与することが可能です。経営者は詳細な結果を監査部門を呼び出していちいち確認することなく、全体的な監査結果をリアルタイムで閲覧することができます。
- 高度なセキュリティをベースにしたユーザ管理機能により、

監査人や被監査部の担当者等個々のユーザー毎にアクセス可能なプロジェクトを設定することができます。

- 改善提案事項の担当者となった監査人は Web アプリケーションである TeamCentral にアクセスし、アクセス権のある被監査部門の担当者によって更新されている対応状況をリアルタイムで確認することができます。
- 被監査部門の担当者と担当監査人へ送信できる電子メール通知機能を活用することにより、継続的なコミュニケーションとワークフローの遂行、締切日を確実に管理できます。
- 個々に合わせて設定できるダッシュボード報告で、多様な報告オプションを備える複数のダッシュボードを設定することが可能です。クリックスルー機能によって、ビジュアルな対応情報を表示することができます。
- 実施された全てのプロジェクトの結果や検出事項の報告は、以下の TeamCentral の標準報告書を使用することによって簡単に行うことができます。完了した発見事項、注目すべき発見事項、リスク分析レポート、時間と費用の分析レポートおよび監査計画モニタリングなどが含まれます。



これらのような標準レポートの他にも TeamCentral レポーティングエンジンはカスタマイズレポートやクエリを設定することが可能です。

多彩な検索機能を駆使すればデータマイニング的にデータを俯瞰したり、個別監査業務プロジェクトのプロファイル内容や発見事項の要素を起点に検索できるクエリを「その場で」設定したりすることも可能です。

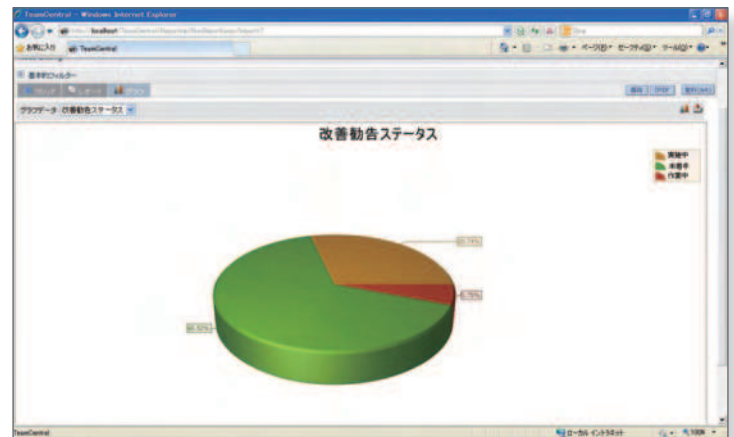
プロジェクトトラッキング機能は個別監査業務プロジェクトの最新の進捗状態をいつでもレポート出力して確認することが可能です。マイルストーンレポートは必要に応じてより監査業務のより詳細な進捗状態の確認に役立ちます。

プロジェクトトラッキングの実行

TeamCentral プロジェクトトラッキングの使用により、監査に確立されたすべての提案や行動計画を監視可能。監査チームメンバー、および/またはアクション所有者は認可されたアクセスレベルに基づいてステータスアップデートの入力が可能です。手動または自動的に電子メールの通知を送付し、レスポンスやフォローアップすることが可能。

発見事項	状態	カテゴリ	発見日	更新日	期限日	担当者
品質保証の強化	完了	品質保証	2019/12/01	2019/11/10	2019/02/02	...
品質保証の強化	完了	品質保証	2019/12/01	2019/11/10	2019/02/02	...
品質保証の強化	完了	品質保証	2019/12/01	2019/11/10	2019/02/02	...
品質保証の強化	完了	品質保証	2019/12/01	2019/11/10	2019/02/02	...
品質保証の強化	完了	品質保証	2019/12/01	2019/11/10	2019/02/02	...
品質保証の強化	完了	品質保証	2019/12/01	2019/11/10	2019/02/02	...
品質保証の強化	完了	品質保証	2019/12/01	2019/11/10	2019/02/02	...
品質保証の強化	完了	品質保証	2019/12/01	2019/11/10	2019/02/02	...
品質保証の強化	完了	品質保証	2019/12/01	2019/11/10	2019/02/02	...
品質保証の強化	完了	品質保証	2019/12/01	2019/11/10	2019/02/02	...

被監査部門の改善提案実施担当者は担当する発見事項にアクセスして進捗状況を更新することができます。通知機能によって対応期日を知らせる事も可能です。



知りたい情報の概要がグラフィカルな検索結果として表示されます。

発見事項	状態	カテゴリ	発見日	更新日	期限日	担当者	ステータス
品質保証の強化	完了	品質保証	2019/12/01	2019/11/10	2019/02/02	...	完了
品質保証の強化	完了	品質保証	2019/12/01	2019/11/10	2019/02/02	...	完了
品質保証の強化	完了	品質保証	2019/12/01	2019/11/10	2019/02/02	...	完了
品質保証の強化	完了	品質保証	2019/12/01	2019/11/10	2019/02/02	...	完了
品質保証の強化	完了	品質保証	2019/12/01	2019/11/10	2019/02/02	...	完了
品質保証の強化	完了	品質保証	2019/12/01	2019/11/10	2019/02/02	...	完了
品質保証の強化	完了	品質保証	2019/12/01	2019/11/10	2019/02/02	...	完了
品質保証の強化	完了	品質保証	2019/12/01	2019/11/10	2019/02/02	...	完了
品質保証の強化	完了	品質保証	2019/12/01	2019/11/10	2019/02/02	...	完了
品質保証の強化	完了	品質保証	2019/12/01	2019/11/10	2019/02/02	...	完了

経過レポートが改善勧告の推奨時期を過ぎた発見事項をわかりやすく色分けして提示します。

標準化の確保

TeamMate EWP では、ライブラリというユーザ独自のテンプレートを使用してプロジェクトファイルを作成します。ライブラリを使用することで、貴社の監査部門の標準的なファイル構成や用語を、全てのプロジェクトに適用することができます。

TeamStores に格納されたテンプレートを用いて新規に個別監査業務のプロジェクトファイルを作成すると、あらかじめ監査手続のステップの詳細、監査調書や検出事項の記述様式、およびチームメンバーや被監査部門の担当者の氏名と連絡先、そしてリスクとコントロールなどが入力されている状態で作業をスタートできます。

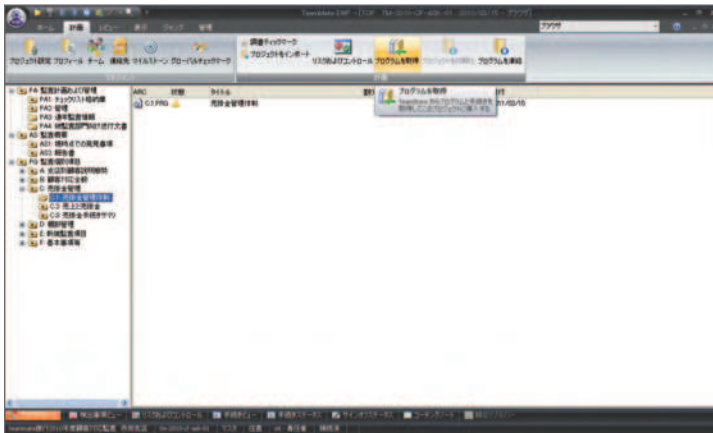
無駄の無い監査業務を実現する TeamMate Templates

TeamMate EWP の個別監査業務のプロジェクトユーザーに定義された形式を保持できます。画面の見出しやプルダウンメニューなどを貴社および組織の用語で設定された状態が毎回再現できます。

また、ライブラリに含まれた監査手続書、計画チェックリストや計画書、連絡文書、リスクマトリックスなどの文書は、自動的に新規プロジェクトファイルに挿入されます。

貴社および組織に合ったテンプレートを作成することで、ベストプラクティス要素が新規プロジェクトに確実に継承され、監査調書の構成を標準化することができます。テンプレートは、見た目や雰囲気統一ということに留まらず、監査人が貴社および組織の監査部門が組織的な要件を遵守して作業できる基盤となります。この標準化された基盤上での作業することが教育となり、新しいユーザへのトレーニング時間は最小限で済みます。こうして、監査業務に慣れるまでの時間を短縮し、個別監査業務の調書作成作業をすぐに軌道に乗せることができます。

新規の個別監査業務プロジェクトを作成する際に利用されるテンプレートはあらかじめ個別監査業務のパターン毎に作成して蓄積しておくことができます。例えば、定期的実施されるプロジェクトは、詳細な監査手続書をテンプレート化しておくことと便利です。また、新規で作成した個別監査業務プロジェクトからテンプレートを簡単に作成することができます。



監査テンプレートの活用によって標準化された状態で作業を開始できます。

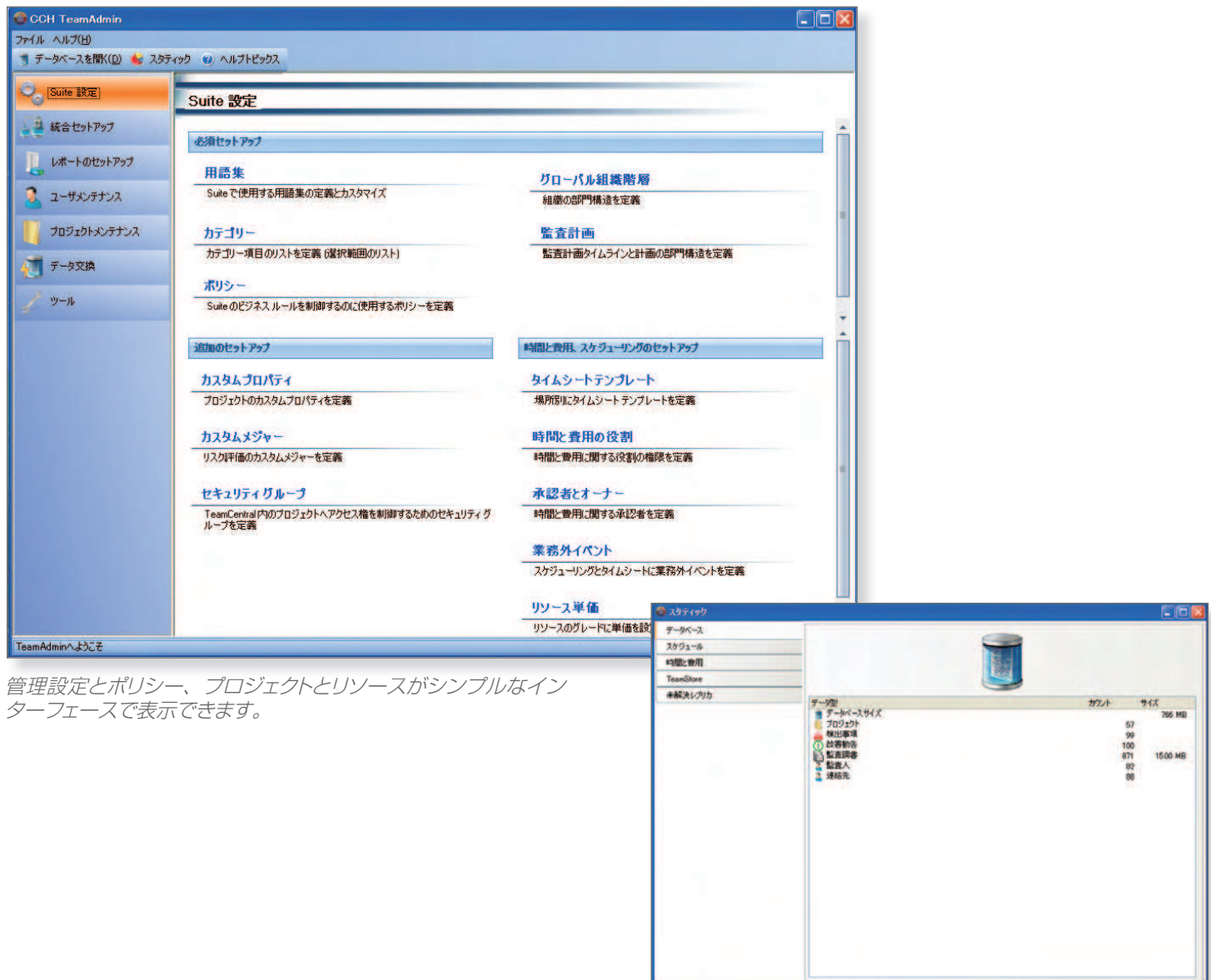
TeamAdmin

TeamAdmin は TeamMate の全モジュールの各種設定、構成、ポリシー規定を一元管理できる環境を提供します。管理モジュールの使用により、下記の情報の管理ができます。

- プロジェクト管理
- 分類と専門用語
- ユーザーとコンタクト管理
- 電子メール通知
- セキュリティ
- ポリシー

担当者管理機能は TeamMate 管理者が行うアクセス権限や属性の変更作業や確認を容易にします。3 種類のシステム上の権限は TeamMate 上の権限と相互に対応しています。

- TeamMate 全般にわたるシステム管理者権限
- コアな監査製品を管理する監査人権限
- 被監査部門の TeamCentral にアクセスできる担当者と TeamRisk の自己評価アンケートに参加できる評価担当者



The screenshot displays the TeamAdmin Suite Settings interface. The main window is titled 'Suite 設定' and contains several sections for configuration:

- 必須セットアップ**
 - 用語集**: Suite で使用する用語集の定義とカスタマイズ
 - グローバル組織階層**: 組織の部門構造を定義
 - カテゴリ**: カテゴリ項目のリストを定義 (選択範囲のリスト)
 - 監査計画**: 監査計画タイムラインと計画の部門構造を定義
 - ポリシー**: Suite のビジネス ルールを制御するために使用するポリシーを定義
- 追加のセットアップ**
 - カスタムプロパティ**: プロジェクトのカスタムプロパティを定義
 - タイムシートテンプレート**: 場所別にタイムシート テンプレートを定義
 - カスタムメジャー**: リスク評価のカスタムメジャーを定義
 - 時間と費用の役割**: 時間と費用に関する役割の権限を定義
 - セキュリティグループ**: TeamCentral 内のプロジェクトへアクセス権を制御するためのセキュリティグループを定義
 - 承認者とオーナー**: 時間と費用に関する承認者を定義
 - 業務外イベント**: スケジュールとタイムシートに業務外イベントを定義
 - リソース準備**: リソースのグレードに準備を設定

The 'スタティクス' (Statistics) window is overlaid, showing a table of database statistics:

データ型	カウント	サイズ
データベースサイズ		766 MB
プロジェクト	57	
検出事項	99	
改善計画	100	
監査計画	871	15.00 MB
監査人	82	
連絡先	88	

管理設定とポリシー、プロジェクトとリソースがシンプルなインターフェイスで表示できます。

TeamAdmin スタティクス (TeamAdmin Statistics) の使用により、一目でわかるデータベース統計を表示します。

CCH® TeamMate—System Requirements

TeamMate のシステム要件

世界で最も利用されている強力な監査管理システムが監査プロセスを改革します。

クライアントのデスクトップ / ノートパソコンにおけるシステム要件

- Microsoft® Windows® XP SP3, Vista® SP2 と Windows 7
- プロセッサ速度: 1.6 GHz Pentium® 4 以上、メモリ: 1GB RAM 以上。
- ハードドライブ: 2 GB 以上 (20GB 以上を推奨)
- Microsoft Office 2003, 2007 と 2010
- HTML に対応する Internet Explorer® 7 と 8
- オプション— TWAIN と互換するスキャナー
- .NET Framework 4.0
- MDAC 2.8.1 (事前にインストールされていない場合は、TeamMate のインストール時にインストールされます)
- データベース要件: Microsoft SQL Server®

データベース サーバー

データベースサーバーは TeamMateWeb アプリケーションに必須のものであり、デスクトップアプリケーションをお勧めします。集中型データベースを使用している場合、アプリケーションは互いに情報を交換することができ、レポート能力が強化されます。

データベースサーバーの仕様は必要性和ユーザー数によって変化します。

対応しているデータベース

- Microsoft SQL Server 2005 SP1/ SP2/SP3, Microsoft SQL Server 2008 SP1/SP2, Microsoft SQL Server 2008 R2, MS SQL Express 2005 と 2008。
- 小規模ユーザーである場合、データベースサーバーと Web アプリケーションサーバーを同一のサーバーにインストールすることをお勧めします。
- Windows Server® 2003/2008 または同等の UNIX® Oracle の環境に対応しています。
- インストールされるデータベースは、MS SQL Server でおよそ 30MB です。見込み増加量は、使用される TeamMate サイトのモジュール、各監査に添付されるファイル数、監査調書がデータベース内外のどちらに保存されるのか、スキャンされる画像のサイズ/品質によって大きく異なります。ただし、一般的な実装では、1つのプロジェクトにつき 25 ~ 50MB の間です。

Web サーバー

TeamCentral、TeamSchedule Web、TeamMate TEC および TeamRisk Web には、Web サーバーが必要です。

- アプリケーションを Web サーバーにインストールすると、350MB 程度のディスク容量を占有します。
- Microsoft 社の Internet Information Systems (IIS) 6, 7 もしくは 7.5 が必要です。Apache またはその他の UNIX/Linux Web サーバーは対応していません。
- Windows Server 2003 SP2/R2, Windows Server 2008 SP2 と Windows Server 2008 R2 が必須となります。
- TeamMate ウェブアプリケーションは 32bit および 64bit の環境に対応しています。
- 以下のアイテムが、Web サーバー上で必須となります:
 - MDAC 2.8.1 (事前にインストールされていない場合は、TeamMate のインストール時にインストールされます)
 - Windows® Installer 3.0以上
 - .NET Framework 4.0

	小規模	中規模 (小規模でも DB サーバーと Web サーバーを同一マシンで運用する場合はこちらです)	大規模
想定ユーザー数	1-10 名	11-100 名	100 名以上
年間監査件数		500 件未満	500 件以上
プロセッサ	3.0 GHz Xeon (Quad) または同等のもの	2 x 3.0 GHz Xeon (Quad) または同等のもの	4 x 3.0 GHz Xeon (Quad) または同等のもの
CPU	ピーク時 50% 未満	ピーク時 50% 未満	ピーク時 70% 未満
メモリ	4 GB 以上	8 GB 以上	16 GB 以上
ハードドライブ	100 GB 以上	150 GB 以上	150 GB 以上
サーバー	TeamMate 専用サーバーでなくても可能	TeamMate 専用サーバーでなくても可能	TeamMate 専用サーバーもしくはサーバーファーム

データベースサーバー

	小規模	中規模 (小規模でも DB サーバーと Web サーバーを同一マシンで運用する場合はこちらです)	大規模
想定ユーザー	1-10 名	11-100 名	100 名以上
年間監査件		500 件未満	500 件以上
プロセッサ	2.0 GHz Xeon (Quad) または同等のもの	2 x 3.0 GHz Xeon (Quad) または同等のもの	4 x 3.0 GHz Xeon (Quad) または同等のもの
CPU	ピーク時 80% 未満	ピーク時 80% 未満	ピーク時 80% 未満
メモリ	2 GB 以上	4 GB 以上	8 GB 以上
ハードドライブ	10 GB 以上	20 GB 以上	20 GB 以上
サーバー	TeamMate 専用サーバーでなくても可能	TeamMate 専用サーバーでなくても可能	TeamMate 専用サーバーもしくはサーバーファーム

Web サーバー

CCH TeamMateのお問合せ先

電話： (03) 6234-3988
FAX： (03) 6234-3989
107-0052
東京都港区赤坂4-2-19
赤坂シャスタースト1F
CCH TeamMate -Japan

UNITED STATES

The Towers at Westshore
1410 N Westshore Boulevard, Suite 400
Tampa, FL 33607
U.S.A.
1.888.830.5559

CANADA

Suite 300, 90 Sheppard Ave. E
Toronto, Ontario M2N 6X1
Canada
1.800.461.5308, ext. 8820

EUROPE, MIDDLE EAST, AFRICA

250 Waterloo Road
London, SE1 8RD
United Kingdom
+44.20.7981.0566

ASIA PACIFIC

Room 1608,
16/F, Harcourt House,
39 Gloucester Road,
Wan Chai, Hong Kong
ARCLogics.com/Asia
[+] 800.224.00.224
Australia: 1300.728.236

日本語ホームページ : www.arclogics.com/japan

